

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168－0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120－782－031（フリーダイヤル） 受付時間 9：00～17：00（土日休日を除く）
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事情によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載 URL（ https://www.sunwa.co.jp/ir_info/index.html ）

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

サンワテクノス株式会社
東京都中央区京橋3－1－1 東京スクエアガーデン18F
TEL.03-5202-4011 FAX.03-5202-4054

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



株式会社プロネクサス 印刷

第75期 中間株主通信
自 2022年4月1日 至 2022年9月30日
サンワテクノス株式会社
証券コード8137



新たな営業戦略とサステナビリティ経営で、 第11次中期経営計画「SNS2024」を遂行する

代表取締役会長 兼 社長 田中 裕之

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の事業環境につきましては、個人消費の回復や企業の設備投資の継続などにより景気は拡大基調となりましたが、資材価格の高騰と各国の景気減速、為替変動の影響があり経済環境は先行き不透明な状況が続いています。

当社グループの主力事業分野である産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界では、中国上海市のロックダウンを機に海外市況がピークアウトし、大変厳しい事業環境が予想されましたが、当社では、部品供給不足による生産影響を考慮したお客様の先行発注があり、4月以降も受注は高い状況が継続しています。また、昨年度来の受注残が売上高として計上され始め、さらに急激な円安の進行により生じた海外事業の為替差益もプラスに働いたことで、当期の業績は過去最高を更新することができました。

株主の皆様への中間配当につきましては、日頃のご支援に

報いるべく、1株当たり20円の配当を実施いたしました。また期末配当も20円とし、年間配当を40円とさせていただく予定です。

顧客セグメント戦略で リソースの価値を最大化する

当社では今年度より、2030年に向けた長期ビジョン「Sun-Wa Vision 2030」のもと、その第1ステージとなる第11次中期経営計画「Sun-Wa New Stage 2024 (SNS 2024)」をスタートしています(4ページ参照)。2024年度営業利益70億円の達成を目指す重点施策である「顧客セグメント戦略」については、全社を横断する実行組織「戦略セグメントチーム」が主導してターゲットとなる顧客、業界を明確に設定し、地域密着営業を遂行する各部門と連携を取りながら積極的リソース投入分野(半導体製造装置、ロボット・マウンター、工作機械)と、選択的リソース投入分野(FA装置、車載、設備)のビジネス創出に取り組んでいます。顧客セグメントごとのエキスパートと従来の地域密着でエリア展開

する部店営業とのシナジーにより、最近ではロボット・マウンターセグメントにおいて、大手機械メーカーとの新規取引が実現するなど具体的な成果が生まれており、セグメント間で差はあるものの、現時点で計画初年度の目標をほぼ達成できる見込みです。

今後、5Gの普及やEV化の推進、再生エネルギーへの期待の高まりを背景に、半導体・自動車・太陽光発電などの分野での設備投資と、国内生産(地産地消)へのシフトが進むなかで、人手不足によるお客様の省力化・自動化などの生産最適化ニーズに応え、顧客満足度の向上を追求していきます。

また今年度は、2017年から全社統一のコンセプトで実施している技術セミナー「サンワテクニカルセミナー'21」を、コロナ禍で余儀なくされたオンライン開催ではなく、東京・名古屋・大阪・福岡で実開催しています。現場主体のDX戦略とカーボンニュートラルをテーマとするセミナーを通して、メーカー技術者の方々とのパートナーシップを強化させています。



中国各省の市場開拓に挑む青島(右)、武漢(上)、常州(下)各事務所の執務風景



また、新たな組織として、名古屋支社に第三営業部を設置し、日本のものづくり拠点・中京エリアでの設備エンジニアリング事業開拓を強化するなど、その道のエキスパートが活躍するフィールドを拡充しています。また、個々のお客様を大切にFace to Faceのサービスを実行する営業拠点として、国内では名古屋支社と京都支店のお客様への地域密着営業を行う「滋賀営業所」を立ち上げ、海外では中国各省の市場開拓強化を狙い、青島、武漢、常州に事務所を開設しました(いずれも営業担当のみが常駐するスマート営業所)。

サステナビリティ経営を実践し お客様と社会からの信頼を得る

「SNS2024」のもうひとつの重点施策は「サステナビリティ経営」の推進です。今年6月に設置したサステナビリティ委員会が旗振り役となり、サステナビリティ基本方針のもと、従来のSDGsを包含する踏み込んだ施策を展開しています。今年7～9月に実施したサンワグループ「サマーキャンペーン2022」は、「サステナビリティ経営による持続可能な社会への貢献」をテーマとして、環境に配慮した製品・部品の販売・発掘(営業部門)、業務効率化・見直し(業務・管理部門)、さらに、国内社員全員での取り組み推進などを通して、社員の意識向上と情報の共有化を図りました。

「2050年カーボンニュートラル」への最重要課題である地球温暖化防止については、当社独自の「脱炭素社会へのアプローチ(SDA^{※1})」を策定し、省エネ、省資源、廃棄物の削減、オフィスの再エネ電力導入も含めた自社の取り組みに加え、省エネ機器などの環境にやさしい商品販売を通じて、2050年度には自社の温室効果ガス排出量の100倍以上(2020年度比)の排出削減効果をもたらす目標を掲げています。また、TCFD^(※2)提言に基づき、気候変動による事業活動・収益への影響とリスクの数値化を進め、明確な目



サンワグループ「サマーキャンペーン2022」表彰式

標値を掲げて各施策を実行していきます。これらの取り組みはスタートラインに立ったところですが、長期的な視点で持続可能な社会への貢献と持続的な企業価値の向上を目指して積極的に活動していきます。

※1 SDA: Sunwa Decarbonized society Approach.

※2 TCFD: 金融安定理事会(FSB)により設置された気候関連財務情報開示タスクフォース。

多様な人材の能力を引き出し、 企業価値の向上を目指す

企業活動を支える多様な人材の育成と活躍推進では、階層別研修を軸とする「サンワカレッジ」に加えて、国内外のリーダー人材を育成する「グローバルネクストリーダー研修」を実施しています。今後、海外拠点が日系企業向けのビジネスだけでなく、各国の現地企業へのサービスを拡充し、現地の社会通念や文化に合わせたビジネスを展開する上で、海外現地人材の育成がますます重要になります。同研修を終えた1期生がすでに各国現地で活躍していますが、マネジメント研修を含めて今後も継続的に取り組んでいきます。

また国内では、女性活躍推進と社会貢献に役立つ生活関連商品サブブランド「ライフネル」の立ち上げや、製品・サー

ビスのプロモーション用SNSサイトの開設など、イントラプレナー(社内起業家)制度を通じて、社員一人ひとりの提案・アイデアを具現化する挑戦を後押ししています。今後も社員の健康づくりを含めた多角的な取り組みで、すべての社員がいきいきと活躍できる企業風土を築き上げていきます。

私は社長就任後、着実に自己資本比率を上げ、収益力をしっかり持って再投資ができる企業を目指してきました。その成果が出始めている今、社員がやりがいを持てる、ワクワクする新たな事業への投資を実行していきたいと思います。そのためにも、最重要経営指標(KGI)を営業利益に置いて、収益力のさらなる向上を目指していきます。

今後もグローバルサプライチェーンのプロフェッショナルとして、お客様の生産最適化への貢献を果たし、健全性・効率性・透明性の高い経営を実践してまいります。株主様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



— Sun-Wa Vision 2030 —

サンワビジョン2030



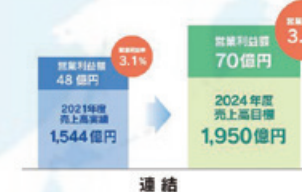
第11次中期経営計画 (2022年度～2024年度)



企業価値の向上
2024年度 営業利益70億円達成

経営目標〈連結〉

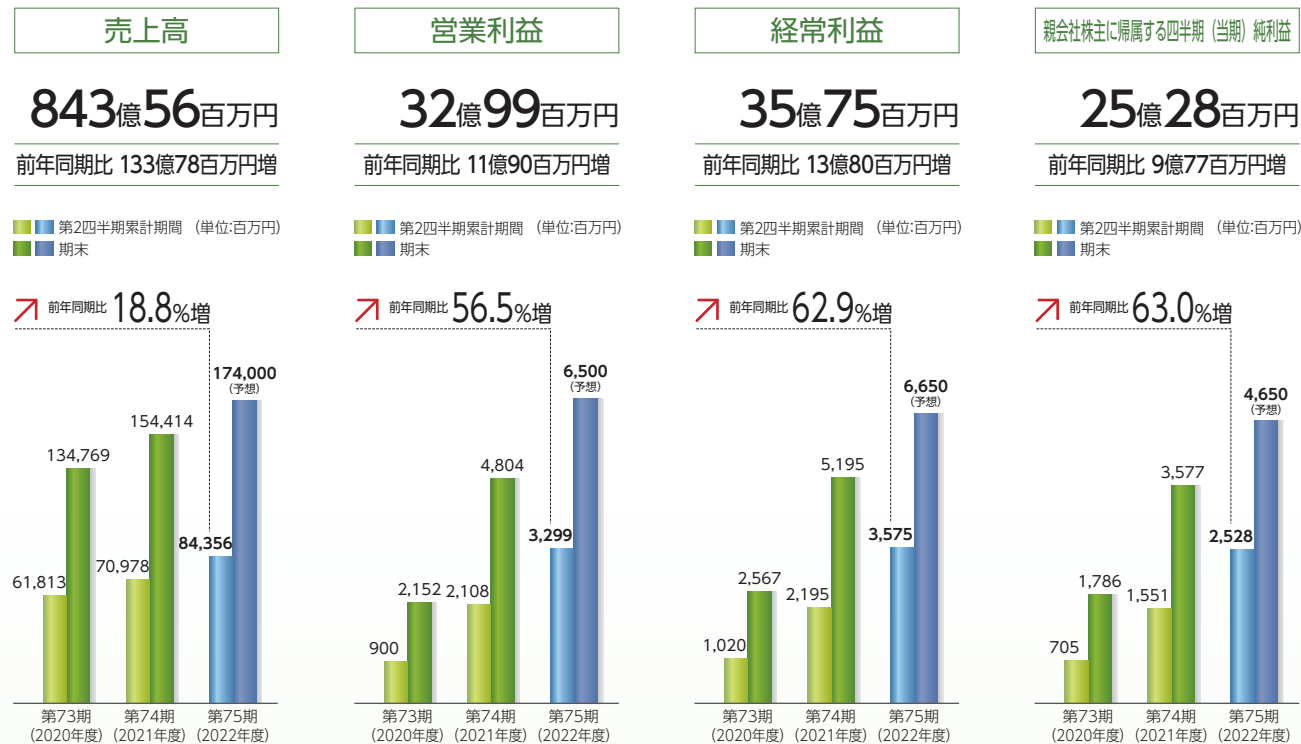
◆ 連結	営業利益額	営業利益率	売上高
2024年度目標	70 億円	3.6%	1,950 億円
2021年度実績	48 億円	3.1%	1,544 億円



基本方針

グローバルサプライチェーンのプロフェッショナルとして
“つながり”と“信頼”でものづくりの未来を支える

Challenge 01	イノベーションが求められる成長分野への注力 ●リソースを投入する顧客セグメントの特定 ●顧客セグメント別戦略実行計画の策定 ●戦略実行による売上総利益の向上
Challenge 02	より高付加価値な製品と新たなソリューションの提供 ●顧客セグメントごとに最適な製品・ソリューションの提供 ●DXによる業務効率化と提供価値向上 ●地域密着とグローバルネットワークで海外シェア拡大
Challenge 03	サステナビリティ経営による持続可能な社会の実現に貢献 ●サステナビリティ課題への取り組みを実効的に進める ●サプライチェーン全体で脱炭素社会に貢献する ●持続的成長を支える多様な人材の育成と活躍推進



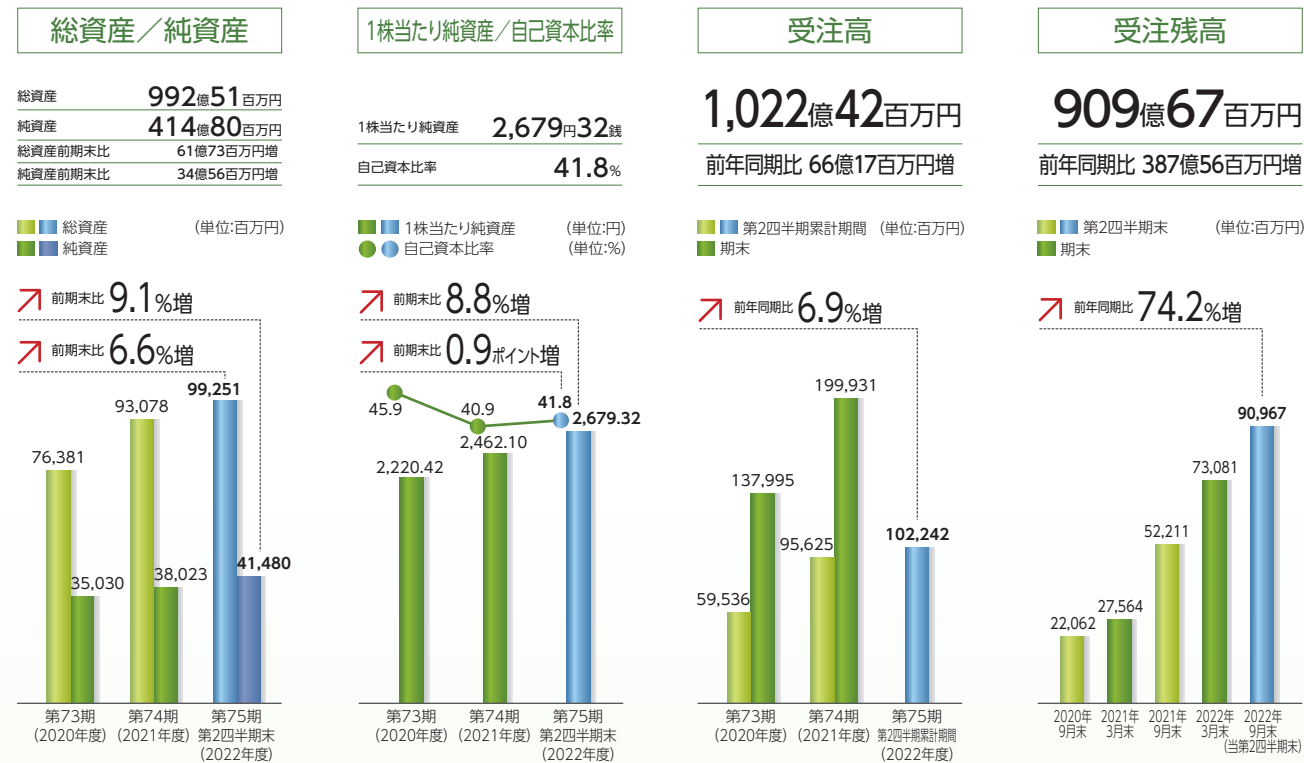
決算ハイライト

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、個人消費の回復や企業の設備投資が継続したことで、景気の拡大が継続しておりましたが、資材価格の高騰や各国の景気減速、為替変動の影響など、経済活動は先行きが不透明な状況が続いております。世界経済については、コロナ禍からの正常化が進んでおりましたが、物価上昇や、各国がインフレ対策として金融引き締めを行ったことで、経済成長が減速しております。中国でも上海ロックダウン以降、景気の拡大は鈍化しており、さらに世界的な経済成長減速により輸出の減少が見られます。アメリカでは、個人消費の落ち着きが見えたことや、金融引き締めにより設備投資が減少し、経済成長が減速いたしました。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、5Gの普及・電気自動車（EV）化の推進・再生可能エネルギーへの注目の高まり等を背景に、半導体関連・自動車関連・太陽光関連などの市場で積極的に設備投資が行われました。また、半導体をはじめとする部材の供給不足による生産影響を考慮した先行手配も継続しており、需要は総じて高い水準で推移いたしました。

このような環境の中で当第2四半期連結累計期間の業績は、過去最高を更新する結果となりました。

（注）第74期（2021年度）より「収益認識に関する会計基準」等適用後の数値を記載しております。



通期の見通し

通期の見通しにつきましては、為替相場の動向、地政学的リスク、サプライチェーンの混乱と生産拠点の移転など景気の動向は依然不透明な状況が続くことが予想されますが、第2四半期連結累計期間の実績及び今後の市場環境の動向などを踏まえて、2022年5月9日に公表した通期連結業績予想を右記の通り修正いたしました。

第75期 通期業績予想

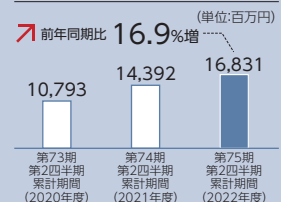
売上高	174,000百万円（前年同期比12.7%増）
営業利益	6,500百万円（前年同期比35.3%増）
経常利益	6,650百万円（前年同期比28.0%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	4,650百万円（前年同期比30.0%増）
1株当たり当期純利益	300円72銭

（注）業績予想につきましては、2022年10月28日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

電機部門



売上高
168億31百万円
前年同期比 24億39百万円増



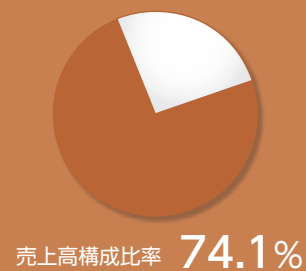
電機部門では、半導体関連業界向けの重電機器及び電機品、太陽光関連業界向けの制御機器及び電機品、産業機械業界向けの制御機器の販売が増加いたしました。

主な営業品目

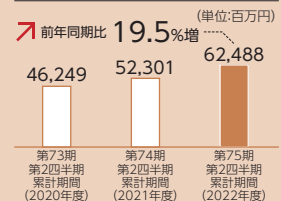
ACサーボモータ、リニアモータ他各種モータ、インバータ、マシンコントローラ、マシンビジョンシステム、半導体製造装置用クリーンロボット・真空ロボット、パワーコンディショナ、受変電設備及び工事等



電子部門



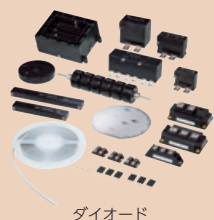
売上高
624億88百万円
前年同期比 101億86百万円増



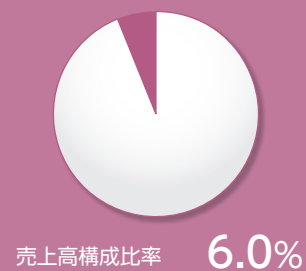
電子部門では、産業機械業界向けの電子部品及び電子機器、自動車関連搭載向け、生活家電関連業界向け及びアミューズメント業界向けの電子部品、半導体関連業界向けの電子機器、コネクタ及び電子部品、OA機器関連業界向けのコネクタ及び電子部品の販売が増加いたしました。

主な営業品目

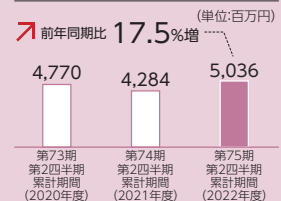
電源、コネクタ、半導体、センサ、小型ファン、LED（発光ダイオード）、LCD（液晶ディスプレイ）、タッチパネル、産業用パソコン、CPUボード、メモリモジュール等の各種電子部品及び機器等



機械部門



売上高
50億36百万円
前年同期比 7億51百万円増



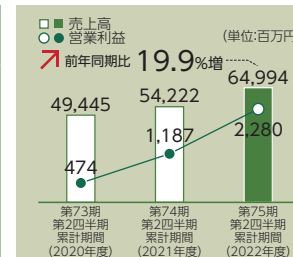
機械部門では、食品関連業界向け及び自動車関連業界向けの設備機器、FPD関連業界向けの搬送装置の販売が増加いたしました。また、製罐関連業界向け、生活用品業界向け及び繊維関連業界向けの設備機器の販売が減少いたしました。

主な営業品目

半導体関連製造設備、産業用ロボット、液晶・パネル搬送用クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、風水力機器、空調・厨房設備、環境保護機器及び装置、各種検査装置、医療機器等



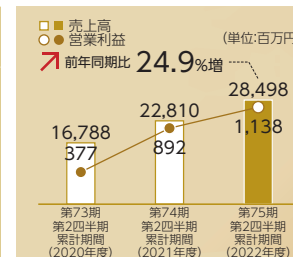
日本



売上高 **649億94**百万円（前年同期比 107億72百万円増）
営業利益 **22億80**百万円（前年同期比 10億93百万円増）

半導体関連業界向けの重電機器、電機品、電子機器及びコネクタ、太陽光関連業界向けの制御機器、産業機器業界向けの制御機器及び電子部品、自動車関連搭載向けの電子部品、OA機器関連業界向けのコネクタ、食品関連業界向けの設備機器の販売が増加しましたが、製罐関連業界向けの設備機器の販売が減少いたしました。

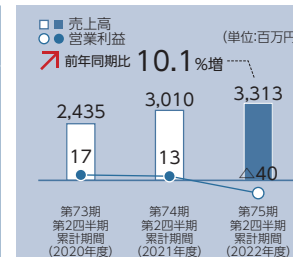
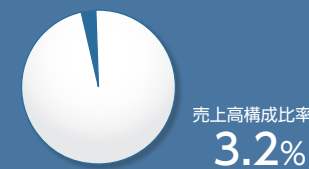
アジア



売上高 **284億98**百万円（前年同期比 56億87百万円増）
営業利益 **11億38**百万円（前年同期比 2億45百万円増）

アジア地域では、太陽光関連業界向けの電機品、産業機械業界向け及び半導体関連業界向け電子機器、自動車関連搭載向け、OA機器関連業界向け及び生活家電関連業界向けの電子部品、FPD関連業界向けの搬送装置の販売が増加いたしました。

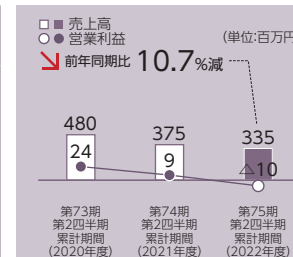
欧米



売上高 **33億13**百万円（前年同期比 3億2百万円増）
営業利益 **△40**百万円（前年同期比 54百万円減）

欧米では、半導体関連業界向け及びアミューズメント業界向けの電子部品、自動車関連業界向けの設備機器の販売が増加しましたが、生活用品業界向け及び繊維関連業界向けの設備機器の販売が減少いたしました。また、輸送費高騰の影響を受け、営業損失となりました。

その他 ※



売上高 **3億35**百万円（前年同期比 40百万円減）
営業利益 **△10**百万円（前年同期比 19百万円減）

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

（注1）売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。
（注2）上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む売上高で表示しております。

ヨーロッパ

SUN-WA TECHNOS (EUROPE) GmbH
フランクフルト

リュブリャナ

アメリカ・メキシコ

グリーンビル
(サウスカロライナ) シカゴ
ロサンゼルス ケレタロ
SUN-WA TECHNOS AMERICA, INC.
SUN-WA TECHNOS MEXICO S.A. DE C.V.

中国・香港・台湾

天津 大連 瀋陽
青島 上海
蘇州 常州 上海メカトロセンター
武漢 厦門 杭州
深圳 広州 台北
台中 台南
香港 香港物流センター

SUN-WA TECHNOS (H.K.) CO., LTD.
SUN-WA TECHNOS (TAIWAN) CO., LTD.
SHANGHAI SUN-WA TECHNOS CO., LTD.
SUN-WA TECHNOS (SHENZHEN) CO., LTD.

ASEAN

ハノイ マニラ
バンコク ホーチミン
ペナン クアラルンプール
シンガポール
ジャカルタ

SUN-WA TECHNOS (SINGAPORE) PTE LTD.
SUN-WA TECHNOS (MALAYSIA) SDN.BHD.
SUN-WA TECHNOS ASIA (THAILAND) CO., LTD.
PT. SUNWA TECHNOS INDONESIA
SUN-WA TECHNOS (PHILIPPINES), INC.
SUN-WA TECHNOS (VIETNAM) CO., LTD.

国内

サンワテクノス株式会社

長岡営業所
長野営業所
北陸営業所 (富山市)
金沢営業所
滋賀営業所 (彦根市)
京都支店
関西支社
大阪支店
姫路営業所
福岡支店
熊本営業所
長崎営業所
九州サービスセンター
北九州営業所
大分営業所
四国営業所 (新居浜市)
東京西支店 (八王子市)
北関東支店 (さいたま市)
東北営業所 (仙台市)
本社
関東支社
東京サービスセンター
横浜支店
沼津営業所
甲府営業所
名古屋サービスセンター
浜松営業所
三河支店 (刈谷市)
名古屋支社
三重営業所 (四日市市)

サンワトリニティ株式会社

サンワロジスティック株式会社

各拠点の住所と連絡先は当社ホームページ「拠点」をご覧ください。

<https://www.sunwa.co.jp/>

サンワテクノス 検索

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)		
科目／期別	前期 2022年3月31日現在	当第2四半期 2022年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	82,209	88,896
固定資産	10,868	10,354
有形固定資産	2,230	2,237
無形固定資産	226	251
投資その他の資産	8,411	7,865
資産合計	93,078	99,251
(負債の部)		
流動負債	52,797	55,814
固定負債	2,257	1,956
負債合計	55,054	57,770
(純資産の部)		
株主資本	33,277	35,546
その他の包括利益累計額	4,746	5,934
純資産合計	38,023	41,480
負債及び純資産合計	93,078	99,251

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)			
科目／期別	前第2四半期累計期間 皇 2021年4月 1日 至 2021年9月30日	当第2四半期累計期間 皇 2022年4月 1日 至 2022年9月30日	
売上高	70,978	84,356	
売上原価	62,229	73,623	
売上総利益	8,749	10,733	
販売費及び一般管理費	6,640	7,433	
営業利益	2,108	3,299	
営業外収益	201	357	
営業外費用	115	81	
経常利益	2,195	3,575	
特別利益	－	34	
税金等調整前四半期純利益	2,195	3,610	
法人税等	643	1,081	
四半期純利益	1,551	2,528	
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,551	2,528	

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)			
科目／期別	前第2四半期累計期間 皇 2021年4月 1日 至 2021年9月30日	当第2四半期累計期間 皇 2022年4月 1日 至 2022年9月30日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,462	△897	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90	△234	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71	2,137	
現金及び現金同等物に係る換算差額	278	949	
現金及び現金同等物の増減額	3,579	1,955	
現金及び現金同等物の期首残高	12,629	13,565	
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,208	15,521	



会 社 の 概 要

(2022年9月30日現在)

商号	サンワテクノス株式会社
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン18F
設立年月日	1949年11月4日
資本金	37億2,700万円
発行済株式の総数	16,044,000株
従業員数	610名（連結1,073名）
ホームページ	https://www.sunwa.co.jp/
事業内容	メカトロニクス関連電気機器及び装置、プラント用電気品、電気設備機器の販売及び電気設備工事
	各種電子部品・電子機器、各種OA機器、FAシステム、通信・情報機器等の販売
	半導体関連製造設備、産業用ロボット、クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、風水力機器、各種検査装置、医療機器等の販売

株 式 の 状 況

1. 発行可能株式総数
- 33,380,000株
2. 発行済株式の総数
- 16,044,000株
3. 株主数
- 4,125名
4. 大株主

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,388,700 株	8.96 %
光通信株式会社	1,179,500	7.61
株式会社安川電機	797,280	5.14
第一生命保険株式会社	729,960	4.71
株式会社UH Partners 2	530,300	3.42
株式会社オリジン	498,000	3.21
オークマ株式会社	435,600	2.81
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	420,400	2.71
山田 益二郎	397,400	2.56
株式会社りそな銀行	395,160	2.55
株式会社三菱UFJ銀行	395,160	2.55

(注) 当社は自己株式（562,307株）を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。また、「持株比率」は自己株式を控除して計算しております。

役 員

(2022年9月30日現在)

取締役 代表取締役会長兼社長 社長執行役員 代表取締役専務執行役員 取締役常務執行役員 取締役上席執行役員 取締役執行役員 社外取締役 社外取締役 取締役(常勤監査等委員) 社外取締役(監査等委員) 社外取締役(監査等委員)	田 中 裕 之 松 尾 晶 広 上 坂 秀 昭 平 野 隆 士 越 後 洋 一 草 薙 敦 郎 坂 本 一 花 山 郎 中 村 野 八 上 野 啓
執行役員 上席執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員	高 松 賢 治 宮 崎 一 玉 木 克 西 田 勝 的 場 孝 遊 佐 浩 司

(2022年9月30日現在)

5. 株式の分布状況

(所有者別)

発行済株式総数
16,044,000株
(100.00%)

役員
260,980株
(1.63%)

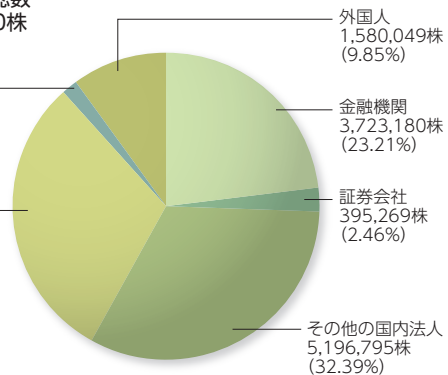
個人・その他
4,887,727株
(30.46%)

証券会社
395,269株
(2.46%)

金融機関
3,723,180株
(23.21%)

外国人
1,580,049株
(9.85%)

その他の国内法人
5,196,795株
(32.39%)



■ 事務所開設（滋賀営業所）のお知らせ

当社は、このたび以下の通り滋賀営業所を開設いたしました。

- 【名称】サンワテクノス株式会社 関西支社 京都支店 滋賀営業所
 【所在地】〒522-0075 滋賀県彦根市佐和町11-30 アイシービル5階
 【開設日】2022年9月28日（水）
 【お問い合わせ先】京都支店 TEL：075-252-3050 FAX：075-252-3055



■ 海外子会社事務所開設（青島事務所、武漢事務所、常州事務所）のお知らせ

当社海外子会社において、このたび以下の通り事務所を開設いたしました。

- 【名称】珊華電子科技(上海)有限公司
 SHANGHAI SUN-WA TECHNOS CO., LTD.
 上海サンワテクノス

青島事務所（Qingdao Office）

- 【所在地】中国山東省青島市市南区延安三路234号 海航万邦写字楼46階4617室
 Room4617, 46F HNA Wanbang Center, No.234 Yan'an 3rd Road, Shinan District, Qingdao, Shandong Province 266071 P. R. C.
 【開設日】2022年9月1日（木）
 【お問い合わせ先】大連事務所 TEL：(+86)411-8230-2188 FAX：(+86)411-8230-2199

武漢事務所（Wuhan Office）

- 【所在地】中国湖北省武漢市武昌区中南路99号武漢保利広場A座18階1842室
 Room 1842, A-18F, Wuhan Poly Plaza, No. 99 Zhongnan Road, Wuchang District, Wuhan, Hubei Province 430071 P. R. C.
 【開設日】2022年11月1日（火）
 【お問い合わせ先】上海事務所 TEL：(+86)21-6390-6600 FAX：(+86)21-6390-6590

常州事務所（Changzhou Office）

- 【所在地】中国江蘇省常州市新北区龍錦路1590号現代伝媒中心1号楼19階9号室
 Room9, 19F(Bldg1), Changzhou Modern Media Center, No.1590 Longjing Road, Xinbei District, Changzhou, Jiangsu Province 213002 P. R. C.
 【開設日】2022年11月1日（火）
 【お問い合わせ先】蘇州事務所 TEL：(+86)512-6805-5618 FAX：(+86)512-6805-5628



■ 個人投資家様向け会社説明会のご案内

当社では、個人投資家様向けに会社説明会を開催しております。
 田中社長より会社概要、第11次中期経営計画「SNS2024」、業績、株主様への利益還元などについて説明いたします。
 今年度は11月に名古屋で約150名の個人投資家の皆様を対象に開催し、今後も福岡、富山での開催を予定しております。
 当社では、このような会社説明会はもとより、様々なIR活動を通して、投資判断に必要な情報開示を積極的に適時継続して行い、証券市場での知名度向上及び安定的な個人株主の増加を図っております。



- 今後の開催予定
 2023年2月4日（土） 福岡
 2023年3月4日（土） 富山
 開催日が近づきましたら、ホームページ（<https://www.sunwa.co.jp/ir/calendar>）に詳細を掲載いたします。

■ IR放送のご案内

IR活動の一環として、ラジオNIKKEIの番組に田中社長が出演しております。
 放送内容は当社の事業概要、特徴、業績、第11次中期経営計画「SNS2024」など。
 なお、ラジオNIKKEIのホームページにて動画の配信も行っております。
 （詳細はラジオNIKKEIホームページをご覧ください。<https://www.radionikkei.jp/8137ir/>）



- ラジオNIKKEI 第1 15時10分頃～
 「ザ・マネー」内コーナー「サンワテクノスIR特集」
 2022年度放送日

第1回 2022年6月15日(水)終了	第2回 2022年8月3日(水)終了
第3回 2022年11月9日(水)終了	第4回 2023年2月22日(水)予定

第1～3回の放送は終了し、オンデマンドで配信中です。